



Osaka University Hospital

未来医療センター便り

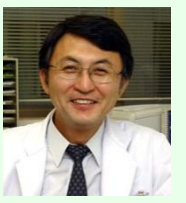
前期号 2010

未来医療センターの新体制

平成22年4月1日、未来医療センターは新たな一歩を踏み出しました。樹先生を迎え、今後臨床試験部と協働しながら、最先端医療の実現に向けてさらなる活躍が期待されています。

一方、「文部科学省橋渡し研究支援推進プログラム」大阪大学拠点を引き継ぎ澤芳樹教授が担当し、医師主導治療の実現や外部機関とのネットワーク作り等を通じて、大学の重要機能としての橋渡し、研究支援システムを整備し、ステナブルな拠点形成を目指します。

この組織再編と強化、連携により、先端的医療技術の臨床応用を加速し、大阪大学がめざす研究成果の社会還元(Bench to Clinic)の実現に向けて飛躍的な前進が期待されます。



新センター長ごあいさつ

未来医療センターは未来の医療を考える、

新しい価値を付け加えることを目的としています。

新しいメンバー

<p>出身:長崎県 略歴:兵庫医科大学医学部医学科卒、国立大阪病院(現大阪医療センター)眼科大阪大学大学院医学系研究科 博士課程修了 米国フロリダ州マイアミ オキニョーラ・フエスセンター研究助手 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター眼科 趣味:ドライブ、ラグビー、絵を描くこと 一言:周囲の素晴らしいスタッフの皆様方とともに、未来医療を盛り上げていきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。がんばります!</p> <p>出身:三重県 略歴:私立大学薬学部薬学科卒業 SMO(CRC)約5年、製薬会社(安全性)約2年 趣味:特技:旅行 一言:今までの経験を生かして役に立てようという 努力していきたいと思っています。</p> <p>出身:大阪府 略歴:神戸女学院大学文学部英文学科卒 趣味:旅行、ジョギング、ゴルフ(になる予定) 一言:早く皆様にご迷惑をおかけしないようがんばります。宜しくお願い致します。</p> <p>出身:宮城県 略歴:山形大学工学部 精密機械工学科卒 電気メーカー ソフトウェア開発部 趣味:特技:手芸、旅行 一言:センターのお役にたてますよう、努力してまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。</p>	<p>出身:神戸 略歴:平成11年 大阪大学医学部 卒業 趣味:先天性心疾患、旅行、特に温泉、湯船、デザイン 一言:先進医療の発展にお役に立てよう、微力ではありますが尽力したいと思います。宜しくお願い致します。</p> <p>出身:奈良県 略歴:京都大学薬学部卒業 同大学院研究科修士課程修了 趣味:テニス、旅行 一言:1日も早くセンターのお役に立てようがんばります</p> <p>出身:宮城県 略歴:山形大学工学部 精密機械工学科卒 電気メーカー ソフトウェア開発部 趣味:特技:手芸、旅行 一言:センターのお役にたてますよう、努力してまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。</p>	<p>出身:New York・大阪府・千葉県 略歴:筑波大学医学専門学群卒業 筑波大学大学院人間総合科学研究科 博士課程修了 大阪大学大学院医学系研究科 助手 大阪大学大学院医学系研究科 助教 Harvard大学公衆衛生大学院 研究員 趣味:特技:走ること、歩くこと 一言:公衆衛生学の立場から、疫学・人口学・経済学などの手法を用いて、貢献させていただければと考えております。</p> <p>出身:大阪府 略歴:大阪大学医学部医学科卒(平成12年) 大阪大学大学院消化器内科学科 大阪大学大学院医学系研究科 博士課程卒業(平成21年) 趣味:特技:テニス、スポーツ観戦 一言:臨床研究に関する経験は浅いですが、よろしくお願ひいたします。</p> <p>出身:大分県別府市 略歴:医学で建築を学び、地元工務店他、設計事務所での新築の設計・施工、竹中工務店での病院・公共建築物等の積算、住友不動産ではスケルトンリフォームの設計・施工等に携わってきました。 趣味:特技:バスケットボール、音楽鑑賞、乗馬、旅行(お寺・仏像を助ねる)、読書 一言:ご縁に感謝し、これからも一日一日を頑張ります。</p>	<p>出身:東京都 略歴:シンクタンク研究員、外資経営戦略コンサルタント、大阪大学医学部招聘准教授 趣味:つり、モータースポーツ 一言:楽しく研究したいと思っています。よろしくお願ひ致します</p> <p>出身:大阪府 略歴:現在:私立大学臨床心理学4年生 京都大学医学部附属病院 探索医療センター非常勤職員 経歴:製薬企業2社にて企業治験 神戸TRIにて医師主導臨床試験のデータマネジメント、他 趣味:いわゆるバイク馬鹿で、かつては鈴鹿やもてぎで撮影会に上がったこともありました。最近は、オフロードバイクで山の中を探検しています。言:週2日勤務でかつ非力ではありますが、少しでも皆様のお役に立てることがあればうれしいです。</p>
<p>特任助教 林田 康隆</p> <p>特任助教 井手 春樹</p> <p>特任講師 野田 博之</p> <p>教授 (医療経済産業政策学) 田倉 智之</p>	<p>特任技術職員 (TRC) 佐野 タ子</p> <p>特任研究員 (データマネージャー) 棚原 憲子</p> <p>医師 岡田 潔</p> <p>医師 江崎 久男</p>	<p>事務補佐員 森岡 昌美</p> <p>事務補佐員 佐藤 真紀子</p> <p>事務補佐員 吉田 智子</p> <p>技術補佐員 (データマネージャー) 高原 志津子</p>	

大阪大学橋渡し研究拠点、充実の支援体制

医師主導治療の実施体制

2003年薬事法が改正され、これまで企業しかなかった治療を医師自ら企画し、実施できるようにになりました。

欧米で標準的に使用されているながらも国内未承認である医薬品

既に承認されている薬品の適応拡大

稀少疾患に対する医薬品で企業が治療を実施しない場合

など必要とされながらもなかなか開発が進まない医薬品を、待ち望んでいた患者さんに少しでも早く届けることができるようにという願いから始まったものです。

大阪大学医学部附属病院における医師主導治療実施体制

医師主導といっても治療ですから膨大な事務手続き、書類整備とそれにかかる費用が必要となり、そのためのなかなか着手できないのが現実です。

未来医療センターでは臨床試験部と協力し、大阪大学医学部附属病院内での限りの支援をし、時間的にも経済的にも医師の負担を少なくすること、医師主導治療が実施でき、新しい医薬品や治療法を開発して患者さんの治療に役立てることができるようになることを目指して、医師主導治療実施に必要な手順書(SOP)を作成し、治験適格性調査を受け、治験を実施するの適切な施設であるとの評価を受けております。そして、現在、2つのプロジェクトにおいて支援活動を開始しております。

医師主導治療支援の実際

治験の準備から終了まで一貫した支援体制を構築しております。医師主導治療を考えていらっしゃる先生がいらっしゃいましたら気軽に相談ください。

新たな医療技術開発のための総合情報システム

医薬品等の研究開発に必須の情報検索できるデータベース・ロイターが提供される総合情報システムは、導入されたシステムは、世界規模の新規開発情報、各国の必要情報、特許情報など、新しい医療技術開発に必要な総合情報検索システム、IDRAC、トムソンファーマ、トムソンソニオン、ベシジョンの3種です。ご関心をお持ちの方は未来医療センターまでお尋ねください。

BD FACS Aria

BD FACS Ariaは、蛍光抗体で染色した細胞を液流に乗せて流し、レーザー光の焦点を通過させ、個々の細胞が発する蛍光を測定することによって細胞表面にある抗原量を定量的に測定することができる機器です。

GEヘルスケア AKTAexplorer 10S

生体分子精製用液体クロマトグラフィーは、タンパク質のみならず、ペプチド、オリゴヌクレオチドの精製から精製度の確認、ペプチドマッピングまで1台でフルラインの生体分子精製をサポートできる、生体分子精製・分析用の高性能液体クロマトグラフィーシステムです。

Zeiss ELISPOT Asaay system

ELISPOT はある特定の細胞群のサイトカイン産生を ELISPOT に近い状況で観察できる優れた方法です。

キーエンス BZ-9000

オールインワン蛍光顕微鏡は、暗室不要でフル電動制御による観察が可能です。コンパクトなボディで明視野・蛍光・位相差観察が可能です。

橋渡し研究大阪大学拠点活動の一環として、西日本のアカデミアを中心とした連携、協力態勢を構築するための施設間ネットワーク、西日本橋渡し研究アライアンス(ACT west)が、平成22年6月23日に行われた第1回幹事会の承認を受けて発足しました。再生医療、細胞治療を中心とする新規医療技術の実用化を目指して、学内、学外を問わず、優れたバイオ、医学、歯学、工学、薬学等の基礎研究シーズの実用化、産業化するための総合的な支援・協力を目指します。

活動予定

- 第58回未来医療セミナー 平成22年11月26日(金) 医学部講義棟 A講堂
- 第17回大阪大医療組織工学フォーラム 平成22年12月13日(月) 銀杏会館
- 第59回未来医療セミナー 平成22年12月22日(水) 病院4階カンファレンス室

● 臨床研究のデータセンターに関するご相談

● iPS細胞の研究利用に関するご相談

● 臨床応用に向けたご相談

● 企業との共同開発に関するご相談

● 特許に関するご相談

その他、ご質問、ご意見などをお寄せください。

セルプロセッシング・アイソレーター

未来医療センターには4つのユニットをもつ細胞調整施設(CDC)があり、これまで患者さんに投与するための細胞・組織の培養や調整を行ってきた。しかし、CDCは極めて厳重な清潔管理の下に運営されており、これまでの動物由来のファイバー細胞や肝炎ウイルスなどの感染症患者さんの細胞を持ち込むことはお断りしてまいりました。しかし、セル・プロセッシング・アイソレーターは完全閉鎖空間で作業の都度内部空間を完全に除菌できることから微生物の伝播の心配なく製造、培養が行えます。また、アイソレーターでは周囲の空間がそれほど厳密な清潔度を要求されないこと、入室時の煩雑さが無いことからより安価に簡単に細胞調整・培養が行えるという利点があります。

そのため、動物ファイバー利用の培養や感染症患者さんの細胞培養だけでなく、比較的単純な作業での工程に利用していくことを考えております。

未来医療臨床研究プロジェクト

細胞シート移植

最近、重症心不全に対する治療法として種々の臓器不全で試みられている再生治療が注目されつつある。心筋再生治療のうち、筋芽細胞等による心筋への細胞移植は心機能を改善する事が臨床的にも報告されているが、大阪大学心臓血管外科では細胞シートによる心筋再生治療の開発研究に取り組み、動物実験で心機能の有意の回復とリモデリング抑制効果を明らかにしてきた。現在、骨格筋筋芽細胞シートによる心筋再生の安全性と有効性を明らかにするための臨床研究を施行中である。

問い合わせ先:大阪大学医学部附属病院 未来医療センター
〒565-0871 吹田市山田丘2-15 TEL: 06-6879-6551 FAX: 06-6879-6549
E-mail: mirai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp/